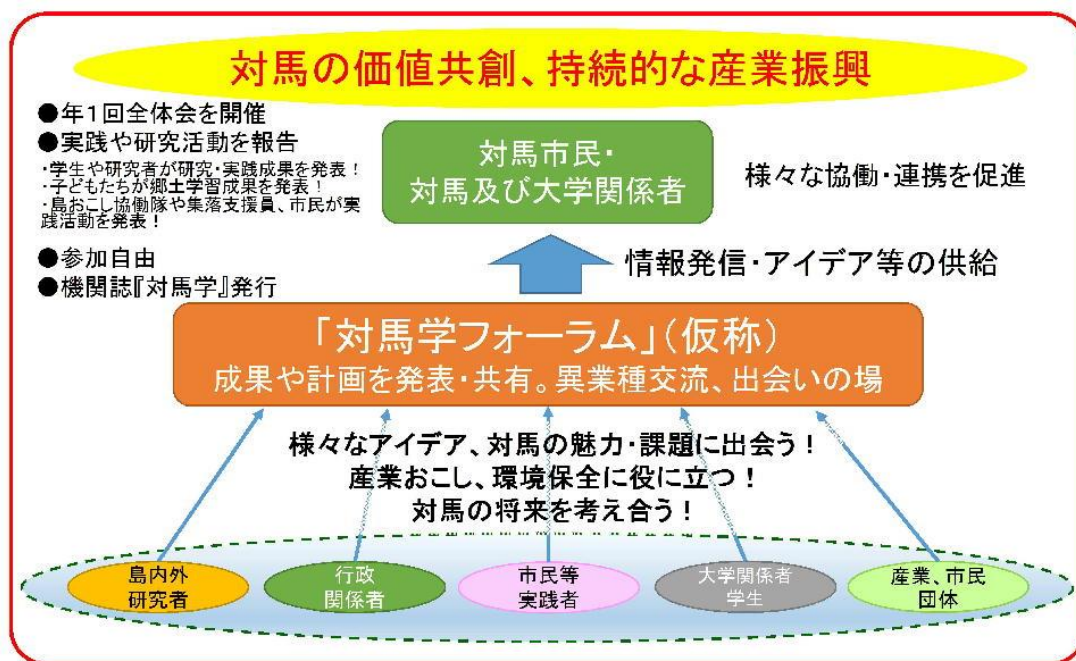


対馬学フォーラム 2018 概要

1. 対馬学フォーラムについて

対馬学フォーラムは対馬市が実施している地域連帯事業の一環として、島内で行われている研究や実践活動の成果を広く共有し、環境・文化保全、地域振興につなげることを目的とした取り組みである。開催4度目となる今回は長崎県立対馬高等学校のユネスコスクール部の生徒による「ウラボシシジミ保全活動」の発表を含む4件の特別報告のほか、島内外からの参加者による52件のポスター発表、また同時開催で参加大学による「出張！オープンキャンパス」や対馬市水産課主催の対馬沿岸磯焼け対策研修会が対馬市交流センターで行われた。

「つながり、つなげる、つながる」がキーワードの対馬学フォーラムでは、地域、大学、行政といった多彩なバックグラウンドを持つ関係者の間で活発な交流が行われることで、対馬の魅力や課題、想い、ビジョンの共有がなされている。また、個々の出会いを通じて協働や連携が生まれることで、持続可能な地域社会の一助として寄与していることが窺える。このように、対馬フォーラムは、学びを軸としたつながりが創生される場として、対馬の地域づくりにおいて重要な役割を果たしている。



(図1. 出典 対馬学フォーラム概要, 対馬市, 2018, p. 1)

2. 対馬学フォーラム 2018 プログラム

9 : 30	開場
10 : 00	開会式 主催者挨拶 対馬市長 比田勝尚喜 来賓挨拶 立教大学 ESD 研究所所長 阿部治
10 : 15	特別報告 「対馬のカワウソ」 筑紫女学園大学現代社会学部 佐々木浩 教授 「ツシマウラボシシジミの保全活動」 長崎県立対馬高等学校 ユネスコスクール部 「自動運転社会を通じた地域の持続的な発展」 明治大学自動運転社会総合研究所 萩原一郎 特任教授 「対馬沿岸の磯焼けなど環境変化への対応と問題解決にむけて」 九州大学大学院工学研究院 清野聡子 准教授
(お昼休み)	
13 : 00	ポスター発表大会 13 : 00～14 : 30 コアタイムその 1 14 : 30～16 : 00 コアタイムその 2
同時開催イベント 出張！オープンキャンパス 13 : 00～16 : 00 対馬沿岸磯焼け対策研修会（対馬市水産課主催） 13 : 00～15 : 00	

【参考文献】

対馬市, 2018, 『対馬学へようこそ 対馬フォーラム 2018』, 対馬市。

(文責：布井佑紀)